

Arts Initiative Tokyo | Baltan Laboratories

交換アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2021

“Liminal Space – リミナル・スペース”

公募概要



- 対象：テーマやソーシャルデザインに関心があり、日本を拠点に現代アートを表現領域とするアーティストまたはデザイナー
- 選出：日本とオランダより1名ずつ
- 公募期間：9月14日（月）～~~11月1日（日）~~ *翌日付変更前まで **11月15日（日）に延長しました**
- 選考結果発表：11月30日（月）
- オンラインオリエンテーション：12月7日（月）*予定
- レジデンスプログラム期間：2021年1月15日（金）～2月26日（金）[6週間]*協議により変更が生ずる可能性があります

主催：NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT/エイト]、Baltan Laboratories

助成：令和2年度 文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業



BALTAN LABORATORIES



はじめに

2021年1月、AITとオランダのアイントホーフェンにある芸術文化団体**バルタン・ラボラトリーズ (Baltan Laboratories)**は、文化庁の助成を受けて、リサーチ、知識・経験の交換、コラボレーションを促し、芸術文化活動を推進するアーティスト・イン・レジデンスプログラムを行います。日本とオランダを活動の拠点とし、現代美術分野で活動するアーティストや社会的視点を合わせ持つデザイナーを対象に、初の試みとしてオンラインを活動・発表の場とします。本プログラムでは、両国の参加者が関心をクロスオーバーさせてリサーチを行い、関係団体を交えた議論を重ねながらプログラムを進めます。

*選出された両国の参加者は、国外への移動を行わず、関心を交差させてリサーチを行い、オンラインツールやアプリケーションを介した積極的なコミュニケーションと関係団体を交えた議論を重ねながら、プログラムを経験します。

*後半には、参加者が取り組むリサーチや創作の発表となるトーク・プレゼンテーションをオンラインで行います。

*リサーチ、また生活文化に関する小物資を交換するなど、モノによる「移動」からプログラムを考えます。

*プログラムでは英語を使用しますが、場合によって通訳者を紹介します。

Liminal Space – リミナル・スペース

音響や視覚エフェクト、シネマトグラフィー、舞台照明でみられる「クロス・フェード（徐々に増えたり減ったりすることが混じり合うこと）」、楽譜のクレッシェンドとディミニユエンドの重なりを想起させる本テーマ「リミナル・スペース」のソースには、境界線を越えたどちらにも当てはまらない未知の状態や猶予期間があげられます。これまでの確かさから離れ、コントロールしようがなく、未だ次の場所やステージに足を踏み入れているリミナル・スペースではあらゆる変化が訪れるとされ、精神性や人間の発達の本質的な役割には、本質的な何かを学ぶまで、そうしたスペースに留まらせる状態を指します。これまでの成功パターンに基づいた行動をひっくり返すこと、思いもよらず、もしくは故意に失敗することも、知ることのなかった生の側面を理解するには必要といえるでしょう。

これは、今、私たちが世界のあらゆる場所で経験していることを表しているかのようです。リミナル・スペースでの変化は、直接的または間接的に、二元論的思考を解きほぐし、私たちの社会、経済、政治、精神、環境などさまざまな相互関係の場で翻訳されると考えます。

本プログラムでは、より広範囲な視点と深い洞察力の発見を促し、新しい見方とあり方を探ることにその考えを転用します。人と人、多様な考え、文化を繋ぎ合わせ、ともにこのテーマを探求する機会としてアーティストと両団体が考察と議論を重ね、行動し、再び順応することを目指します。参加者は、日本とオランダでゆるやかに関心と目的を共有しながら、双方の良き理解者・協働者となり、2週間に一度、定期的に行うミーティングでリサーチの状況を報告、議論を行います。プログラムの最後には、それぞれのまとめとして報告を兼ねたイベントを行い、両国以外の観客にもインターネットを通して発信しながら、導き出される視点や創作の発表を行います。

<http://www.a-i-t.net/ja/residency/2020/08/baltan-ait.php>

バルタン・ラボラトリーズ Baltan Laboratoriesについて

バルタン・ラボラトリーズは、アイントホーフェンに本社を置く世界的電気メーカー、フィリップス社のラボに勤務し、「キッド・バルタン」の名で電子音楽分野の先駆けとして活躍したディック・ラージメイカーの功績にインスパイアされ創設。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジーの領域を横断する実験的な試みを行い、導き出される知識やアイデア、洞察で他分野の架け橋となることを目指しています。ラボは個々の協働的思考と団体のネットワークを接続する場として機能し、アートとデザインをプログラムの主軸としながら、私たちが生きるテクノロジーにあふれた社会への影響、確信、誘惑などについても思いを巡らせます。

<https://www.baltanlaboratories.org>

<https://www.baltanlaboratories.org/library/liminal-space-open-call-for-applications>

支援内容

日本国内でのリサーチや制作にかかる以下を支給します。

- 創作補助費 150,000円
- リサーチ費 150,000円
- 国内交通費 50,000円まで
- 国内滞在費 84,000円まで

*交通費および滞在費はリサーチや制作を目的としたものに限り、領収書精算となります。

*このほか、オランダのアーティストと小物資の交換を行う郵送料、必要に応じた通訳の手配、プログラムを記録する小冊子の制作費はプログラムが負担します。

応募書類

プログラム概要に記載の応募書類をひとつのフォルダにまとめ、名称を「Liminal Space 氏名」とし、同じタイトルを記したEメールを次のアドレスに~~11月1日（日）~~（翌日付変更前）まで送信してください。
11月15日に延長しました

送信先メールアドレス：air@a-i-t.net

1. 申請書（次のリンクよりダウンロード可能）
<https://drive.google.com/drive/folders/1qplzk0BaQb8vUo-OIUf3BBmoFYhBR5r-?usp=sharing>
2. CV、アーティストステートメント（A4サイズ最大2ページまで）
3. これまでの作品やプロジェクトの画像（最大5枚まで、jpegフォーマット）
4. 本レジデンスプログラムに向けたアイデアやリサーチ、創作プラン（450ワード程度、内容の補足としてA4サイズ1枚まで和文の添付も可能）
5. 英語による1分程度の自己紹介映像（mov., mpeg4フォーマット）またはYouTubeやvimeoのリンク

*グーグルドキュメント、wetransfer、dropboxなどのファイルシェアサービスを利用する場合、メール本文中にリンクを添えてください。

*書類は返却いたしませんので、送信前にご自身で保存してください。

諸注意

（1）申請書の記入について

- 申請書 (Application Form) の一部は日本語で記入ください。
- その他の書類は全て様式自由、英語で作成ください。（和訳は任意）
- 概要をよくご確認くださいの上、記入漏れのないよう、提出前にお確かめください。

（2）ご応募について

- 持参、郵送での応募は受け付けておりません。
- 申請書及び付属資料は原則として返却いたしません。
- 同一申請者から複数の申請があった場合、全ての申請を無効とします。

（3）ご応募に関するご質問について

- 公募の期間中のみメールにて受け付けます。

Email：air@a-i-t.net

担当：東海林、堀内

Application Form

Contact Information

First Name:

Family Name:

Mr. Miss. Mrs.

Nationality:

Postal Address:

Date of birth (Month/Day/Year):

Age:

Tel (Mobile / Home):

Email:

Website (If any):

Affiliation (Company, Group, School, etc., if any):

Occupation (Artist, Designer, etc.):

Link to your introduction video:

***For Japanese artist only.**

氏名(ふりがな) :

現住所 : (郵便番号)

所属先 :

***For Dutch artist only.**

Please share your financial plan for the program.

- Per Diem:

- Research Fee:

- Production Fee:

本アプリケーションフォームは、以下のリンクよりダウンロード可能

<https://drive.google.com/drive/folders/1qplzk0BaQb8vUo-OIUf3BBmoFYhBR5r-?usp=sharing>